

|      |               |        |                                                          |      |      |     |      |
|------|---------------|--------|----------------------------------------------------------|------|------|-----|------|
| 科目名  | ヨーロッパ言語研究演習Ⅳ  |        |                                                          |      |      |     |      |
| 英語科目 |               | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照 |      |      |     |      |
| 開講期  | 秋学期           | 開講学部等  | 外国語学部                                                    | 配当年次 | 4 年次 | 単位数 | 2 単位 |
| 教員名  | ブルーノ ティノ エリック |        |                                                          |      |      |     |      |

#### 授業概要／Course outline

フランス革命歌である「ラ・マルセイエーズ」が広まってから200年以上経った今日のフランスでは、たくさんのプロテスト・ソングが社会問題を取り上げている。この授業では、「ヨーロッパ言語研究演習Ⅲ」に引き続き、プロテスト・ソングを聞き、その歌詞を翻訳し、曲が提起する社会問題について研究、フランスと日本の状況を比較する。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、フィールドワーク）

授業にグループワークを積極的に取り入れ、グループでプレゼンテーションを行う。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

★オンデマンド テーマ プロテスト・ソングをさらに知る

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

毎学期、ある社会問題について理解を深め、研究を進める。

テーマの一例：変化する家族の形、格差社会、環境問題、移民問題、ドメスティックバイオレンス、イジメ、新型コロナウイルス、消費社会、性的マイノリティ、刑務所生活など（受講生は自由に選べます）。

使用言語は日本語とフランス語。

第1回：ガイダンス・イントロダクション

授業の説明をした後に、それぞれの受講生にこの授業でやりたいことを話してもらう。

第2回～第5回：フランスの社会問題について学び、考察する【「教員 - 学生間の対話」も行う】

講義を通して、フランスの社会問題について学び、議論し、クラス全体でプロテスト・ソングを翻訳し、提起する社会問題について考察する。「教員 - 学生間の対話」も行う。

第6回～第7回：テーマ決定・先行研究の収集・読書

本学期的テーマを具体的に決め、その先行研究を読む。

第8回：中間発表

選んだテーマについて発表し、全員で質疑応答する。

第9～第11回：曲の翻訳・研究・ウィキペディア編集とその経過報告

曲の翻訳とウィキペディア編集、研究を進めながら、それらの経過報告をし、全員で質疑応答する。

第12回～第13回：研究発表・プロジェクション

研究結果を紹介し、日本語字幕付きのプロテスト・ソングのプロジェクションを行う。

第14回：まとめ

1回から14回までの内容を振り返り、まとめを行う。【「学習成果実感調査」も行う】

★オンデマンド テーマ プロテスト・ソングをさらに知る（90分相当）

オンデマンド授業は12月20日までにMoodleで配信する

#### 事前・事後学修／Preparation and assignments

※ 毎回の事前学習と事後学習の目安時間は180分である。

#### 第1回：ガイダンス・イントロダクション

「事前学習」この授業で追求したいテーマを考えておく。

「事後学習」ガイダンス・イントロダクションで説明されたことを整理する。

#### 第2回～第5回：フランスの社会問題について学び、考察する

「事前学習」指定されたテーマについて調べておく。

「事後学習」指定された曲について調べておく。

#### 第6回～第7回：テーマ決定・先行研究の収集・読書

「事前学習」1年間研究したいテーマを決定、先行研究を収集しておくこと。

「事後学習」教員や他の受講生からもらったアドバイスを参考にしながら、自分のやりたいことについての考えを深める。

#### 第8回：中間発表

「事前学習」発表の準備をやっておく。

「事後学習」教員や他の受講生からもらったアドバイスを参考にしながら、研究を進める。

#### 第9～第11回：曲の翻訳・研究・ウィキペディア編集とその経過報告

「事前学習」曲の翻訳・研究・ウィキペディア編集を進め、経過報告で話すことをまとめる。

「事後学習」教員や他の受講生からもらったアドバイスを参考にしながら、研究・編集を進める。

#### 第12回～第13回：研究発表・プロジェクション

「事前学習」研究発表・プロジェクションの最終準備をする。

「事後学習」教員や他の受講生からもらったアドバイスを参考にしながら、次回発表の準備を始める。

#### 第14回：まとめ

「事前学習」春学期に自分が学んだことを整理してくる。

「事後学習」今後の発展について考え、同じテーマに関連する曲を調べる。

#### ★オンデマンド テーマ プロテスト・ソングをさらに知る

【事前学習】これまで習った内容に目を通しておく

【事後学習】課題をMoodleにアップロードする

#### 授業の到達目標／Expected outcome

- ・フランスの現代社会について理解を深め、日本との違いについて理解したことを、説明できる。
- ・フランス語圏のプロテスト・ソングが提起する社会問題について研究し、議論し、プレゼンテーションを行うことができる。
- ・自分が取り組んでいる課題に対して、必要な情報を収集し、フランス語の知識や運用能力を応用することができる。
- ・IT機器を用いて、字幕作成やウィキペディアの記事編集ができる。

#### 身につく資質・能力／Competencies to be attained

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| ・ 思考力     | 専門知識・専門技能          |
| ・ 主体性     | 【外国語学部 ヨーロッパ言語学科】  |
| ・ 発信力     | ・ 言語に関わる調査・研究・発信能力 |
| ・ 協働性・協調性 |                    |
| ・ 倫理性     |                    |
| ・ 創造性     |                    |

#### 履修上の注意／Special notes, cautions

授業に遅れず、休まず出席すること。  
この授業では受講生の予習を前提としたものである。  
予習は必須であり、予習を行っていない場合出席と認めない。  
積極性を高く評価するので、授業中積極的に発言すること。  
※授業内容及び進度に関しては、授業の進行状況により変化する可能性がある。

#### 評価方法／Evaluation

授業への参加度・発表50%，研究の成果50%をもとに総合的に評価する。

2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とします。5分以上の2遅刻＝1欠席

教 材／Text and materials

教科書:なし。適宜プリントを配付する。

質問や相談の方法／Instructor contact

オフィス・アワーは月曜日のお昼休み中に行う。（第6研究室棟213研究室）